

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書



※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やす、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	川でつながる地域と子どものふれあい広場										
提案グループ名	舞岡川とふれあう会										
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	戸塚区舞岡町										
整備したい施設の 概要	<p>舞岡小学校に隣接する「舞岡川」および「かるがも橋」周辺の整備 【普請事業として実施】</p> <ol style="list-style-type: none"> かるがも橋を中心とした一体的な交流広場整備 かるがも橋を含めた川周辺のバリアフリー化 ふれあい広場のベンチ増設 日よけ棚の設置 <p>【環境創造局事業との協働事業として実施】</p> <ol style="list-style-type: none"> 土手・川底に堆積した土砂を撤去し、整備する（環境創造局） 階段、スロープ、河原等の補修（環境創造局） 水質を良くするための整備（護岸をコンクリートで固めない等 今後協議の中で、良い方法を模索していく。） 水生植物等の植栽、土手部分に野草の植栽（舞岡川とふれあう会） 										
整備助成金申請 予定額	500万円										
設計及び整備の スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>11月～12月</td> <td>環境創造局に依頼し、川の中及び土手の土砂の撤去。</td> </tr> <tr> <td>1月～3月</td> <td>土砂撤去後の土手再整備のための植物・苗などの採取及び手配。日よけ棚、土手部分の植栽。</td> </tr> <tr> <td>4月～</td> <td>整備計画に基づき、設計事務所に依頼しデザインを決定、実施設計、見積もり作成。</td> </tr> <tr> <td>6月～</td> <td>工事発注。工事着工。完成。</td> </tr> <tr> <td>7月末</td> <td>オープニングイベント。</td> </tr> </table>	11月～12月	環境創造局に依頼し、川の中及び土手の土砂の撤去。	1月～3月	土砂撤去後の土手再整備のための植物・苗などの採取及び手配。日よけ棚、土手部分の植栽。	4月～	整備計画に基づき、設計事務所に依頼しデザインを決定、実施設計、見積もり作成。	6月～	工事発注。工事着工。完成。	7月末	オープニングイベント。
11月～12月	環境創造局に依頼し、川の中及び土手の土砂の撤去。										
1月～3月	土砂撤去後の土手再整備のための植物・苗などの採取及び手配。日よけ棚、土手部分の植栽。										
4月～	整備計画に基づき、設計事務所に依頼しデザインを決定、実施設計、見積もり作成。										
6月～	工事発注。工事着工。完成。										
7月末	オープニングイベント。										

2 創意工夫について

計画について工夫 した点を記入して ください。 (住民等が持つ発 想、方法などを生か したアイデアやユニー ークさ) * 1:子どもたちが活 動する場としてふさわ しい活動場所を「子ど もの水辺」として登録 し、川や水辺に関する	<ol style="list-style-type: none"> いつでも子どもたちが川及び周辺でのびのびと遊べ、地域の様々な団体の活動と交流の場となるよう、また防犯対策として地域住民の目が常に集まるよう、川及び橋上広場、橋詰広場を一体的に活用できる形の工夫をした。 コミュニティースペースとして、多くの団体が活動・交流できるよう、地域住民のニーズを調査するために社会実験を実施し、 地域の主な団体と整備内容や整備後のスペース利用、管理について意見交換し、それらの内容を当提案に反映させた。 様々な方々の使用を想定し、可能な限りバリアフリー化し、安心して利用できるように計画した。また、バリアフリー化する事
---	---

<p>る情報提供、人材のコーディネート、資機材の貸出しなど子どもたちが安全に充実した活動が出来るよう様々な支援を行う国の制度。</p> <p>http://www.mizube-support-center.org/entry/entry01.htm</p>	<p>で、車道として利用されていない橋上を橋詰め広場と一体化し地域活動の核となるふれあい広場にすることが出来る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 特に、舞岡小・中学校での環境学習や舞岡小はまっ子ふれあいスクール等の活動スペースとなる「野外教室」が可能となる。（「子どもの水辺※1」への登録検討中。） 6. この広場から、川辺の遊歩道・遊水地予定地、小学校グランドが地続きになっており、将来的に広いスペースでのコミュニティ広場に発展していく様に計画した（全体計画図参照）。
<p>整備工事における地域での費用や労力の負担方法などについて工夫した点を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. プランターは、子どもや近隣の団体と共に制作する。 2. 土砂撤去後の土手再整備のため、可能な限り現場の環境に合わせた植物・苗などを採取及び手配し、子どもたちや地域住民と共に植栽する。 特に、水質及び環境の改善をはかる水性植物等の選定は地域の方々の協力を得て、近隣より採取し植栽する等の工夫を行う。 3. 元の河原の河川環境を取り戻すため、土砂の撤去、施設の補修等の協議を行い、工事を環境創造局との協働作業により実施する。
<p>整備した施設の維持管理・運営計画及びその実施方法などについて工夫した点を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 舞岡小学校の学校開放団体として登録し、休日の学校施設（水道・トイレ・グラウンド）を利用する環境を整えた。 2. 清掃活動を行っている団体（舞岡小学校「さわやか清掃」・水辺愛護会・舞岡水と緑の会等）と協働で清掃する。 3. 地域の町内会や水辺愛護会、NPOなどに呼びかけて、水辺環境整備・保全の一環として、草刈や清掃を行う。 4. 子どもによる川での環境活動を継続的に展開できるよう、「子どもの水辺」登録を目指した準備会を設置し検討する。 5. 維持管理・運営の財源の確保や利用調整のための体制を維持するために、地域団体と連携・協働し、多彩な活動・イベント等を年間を通して実施していくよう、新しい仕組みをつくる。

3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整の結果について記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. かるがも橋橋詰め広場・管理用通路については、地域住民・町内会・小学校・関係市民団体との合意形成を図り、整備に関するニーズの調査にもご協力いただき、計画に反映した。整備については環境創造局との協議を重ね、概ね了解を得ている。 2. 橋上広場については、水緑管理課と調整中である。 3. 川及び土手部分に関しては、河川事業課の今年度事業の中にできるだけ地元の意向を反映し協働事業として実施する予定である。 4. 戸塚区区政推進課からは全面的な協力をいただき、河川事業課等関係機関との調整に入っている。
--	--

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入</p>	<p>子どもたちが安心して川遊びができるよう、また、地域の団体や様々な利用者の多様な利用ができるよう、橋上・橋詰広場・管理用通路をバリアフリー化し一体的に再整備することで、小学校・幼稚園・保育園の子どもたちのみならず、地域作業所、老人ホーム、その他の地域団体も安心して活動することが可能になり、地域のコミュニケーション・活動の中核となり地域の活性化につながる。このため、第一歩として関係団体の協力により各団体がこのふれあい広場に関わる年間ス</p>
---	--

してください。	ケジュール案を作成した（その他資料参照）。最終目標は、いつも様々な形で舞岡川ふれあい広場が利用され、活動が継続的に活発に展開される事により、地域住民間のコミュニケーションが密となり地域の防犯性が高まる。そして、川と校庭との間に設置されるフェンスが常に開放され、ひいてはフェンスのない学校と川と遊水地上部広場が一体的な環境となることを目指す。
---------	--

5 費用対効果について

整備コスト縮減について工夫した点を記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> 土手部分の土砂の撤去、河原の再生、階段・スロープの修復については、環境創造局との協働事業により実現する予定である。 舞岡川ふれあい広場の整備に際しては、舞岡川とふれあう会を中心に他団体の協力で労力を提供することでコストダウンを図る。 水辺の植栽やプランターへの植栽については、地域の古老等の協力により、できるだけ自前で採取する事で経費節減に努める。 インターロッキング舗装については、既存部分の改修において再利用を行い、整備費の削減を図る。
----------------------------	---

6 地域まちづくりへの発展性について

整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、自然と遊ぶ楽しさと共に、水辺の危険やさらには地域の安全について自ら体得していくため、子どもたちによる自主組織づくりや地域の関係団体と連携して「子どもの水辺」登録に取り込んで行くことにより、地域の防犯力を高めていくことができる。 ハマロードサポーターとして活動中の地域団体「あけぼの会」の花作り活動と連動する。また、舞岡小学校・はまっ子ふれあいスクール・地域作業所やまぶき工房・舞岡水と緑の会などの活動に、相互に参加協力し合うことで、コミュニケーションを密にしていくことが可能となる（その他資料参照）。 既存の自治会広場が近々無くなる予定であるため、早急に代替の広場が必要とされている。当提案スペースに加え、隣接している舞岡小学校グランドや予定されている遊水地の上部空間（自治会が提案している公園、運動場）と連続するスペースであるため、将来はこれらが一体となることで、舞岡地区の総合的な地域拠点へ展開できる可能性がある。
--	--

7 特にPRしたい点について

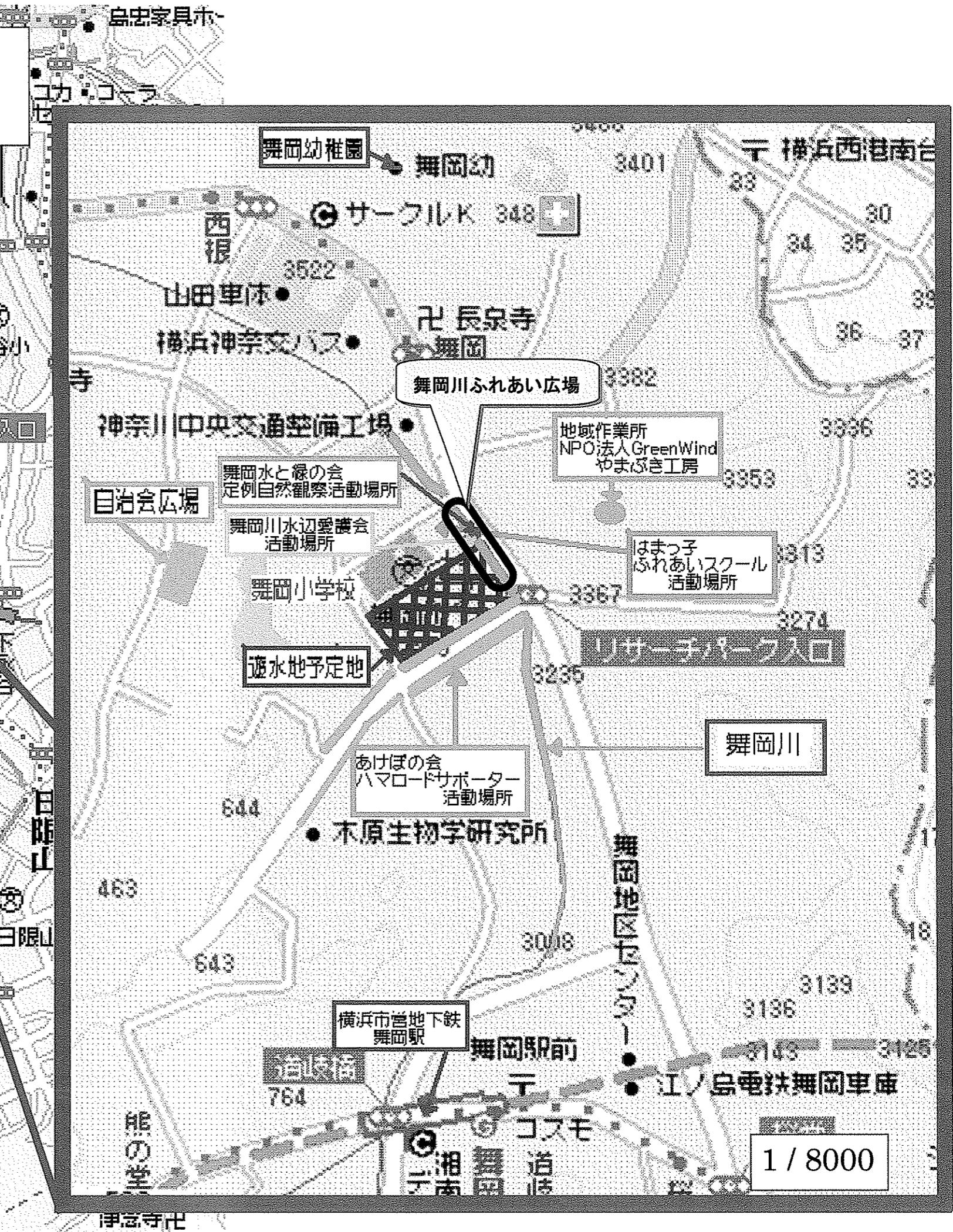
提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。	国道1号線より続く舞岡川の中で、自然が残されていながら、川に降りて遊ぶことができる唯一の場所として貴重な空間である。また、舞岡川は舞岡地区の中央を南北に流れる河川であり、都市計画マスタープラン・舞岡地区プランでも歩行者軸線として位置づけられている。その中にあって、対象地は、舞岡小学校と一緒に利用できるところであり、かつ予定されている遊水地上部空間とも連動できる重要な位置にあり、これらの空間が一体的に整備・活用されることによって、舞岡地区のまちづくりの重要な拠点として、整備の意義や効果が非常に高いところである。
------------------------------	---

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

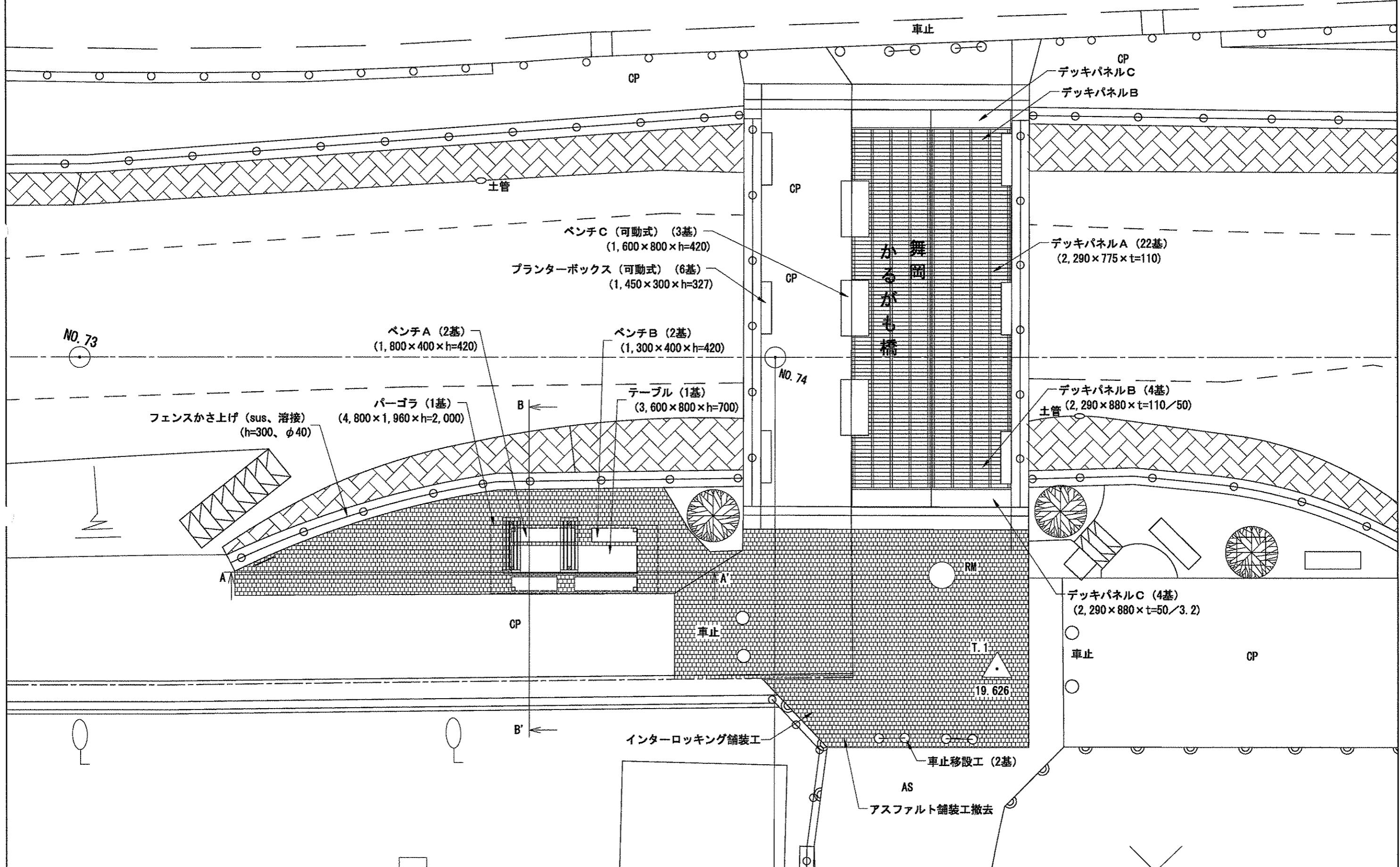
- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
 記載内容に個人情報は含まれていません。

位置図

川でつながる地域と子どものふれあい広場（整備場所 戸塚区舞岡町）



舞岡川ふれあい広場平面図 S=1:100



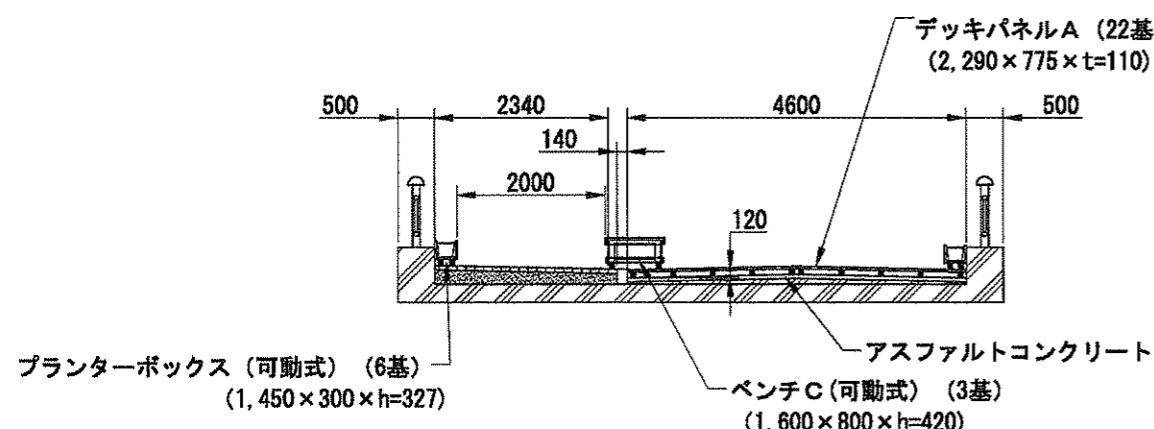


舞岡川 ふれあい広場 イメージ図

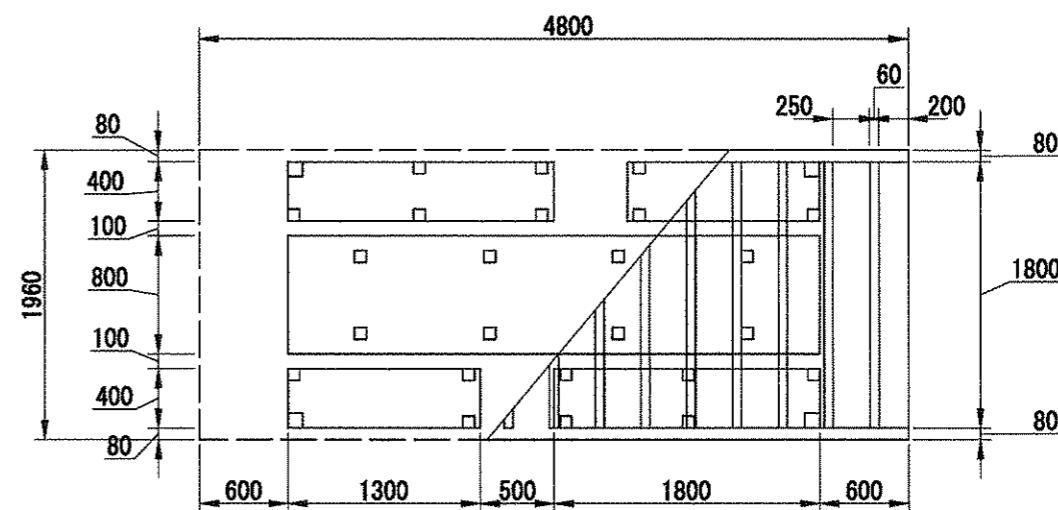
子どもも大人も一緒になって、自分たちの町に親しむ。
水・土・自然に肌でふれながら、人とのつながりをも育む。
そんな、コミュニケーションスペースとしての活用を考えました。

舞岡川ふれあい広場詳細図（断面図）

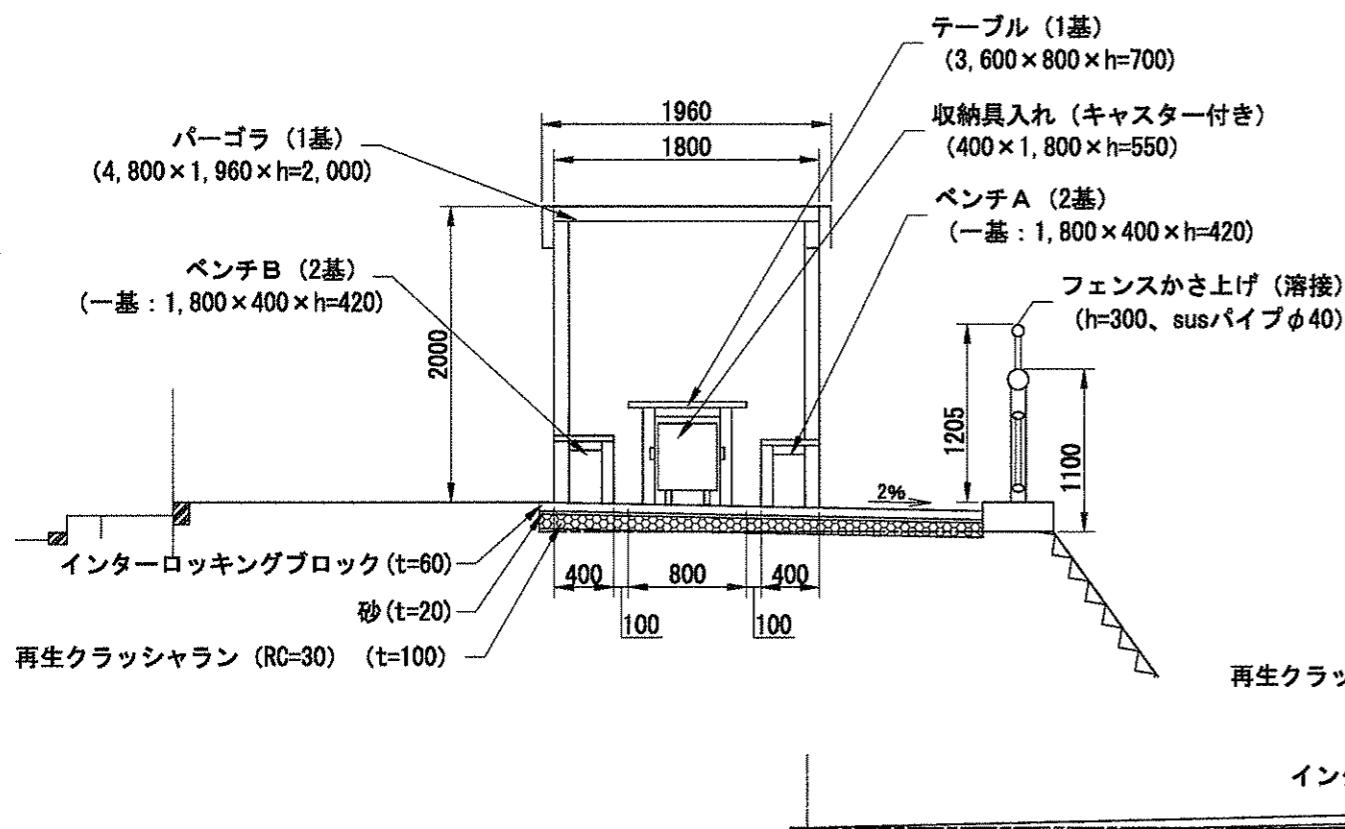
デッキ断面図 S=1:50



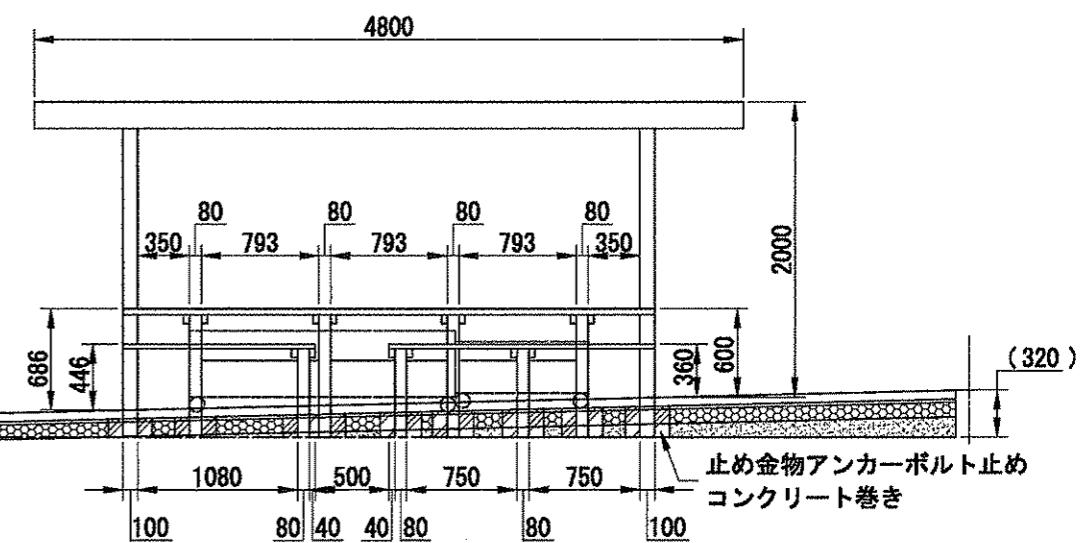
パーゴラ詳細図 S=1:50

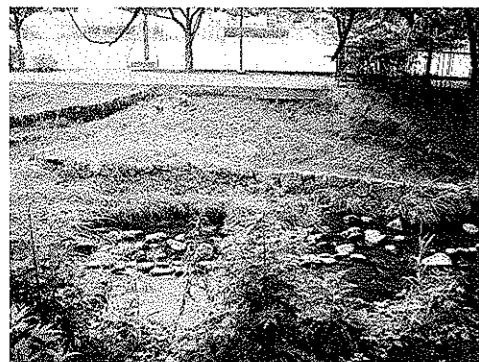


B-B' 断面図 S=1:50



A-A' 断面図 S=1:50





左岸下手の河原の浸食状況

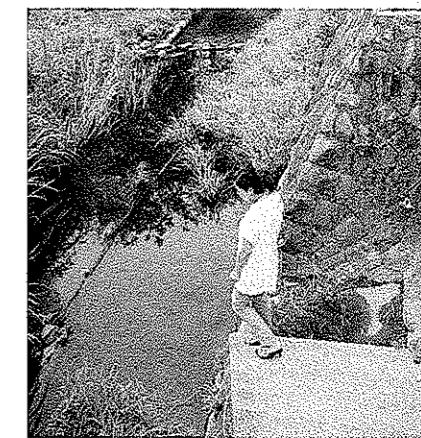
- 左岸: 河原の修復
30 m²
整備について竣工当時の工法以外に提案があれば検討する

【基本整備方針】

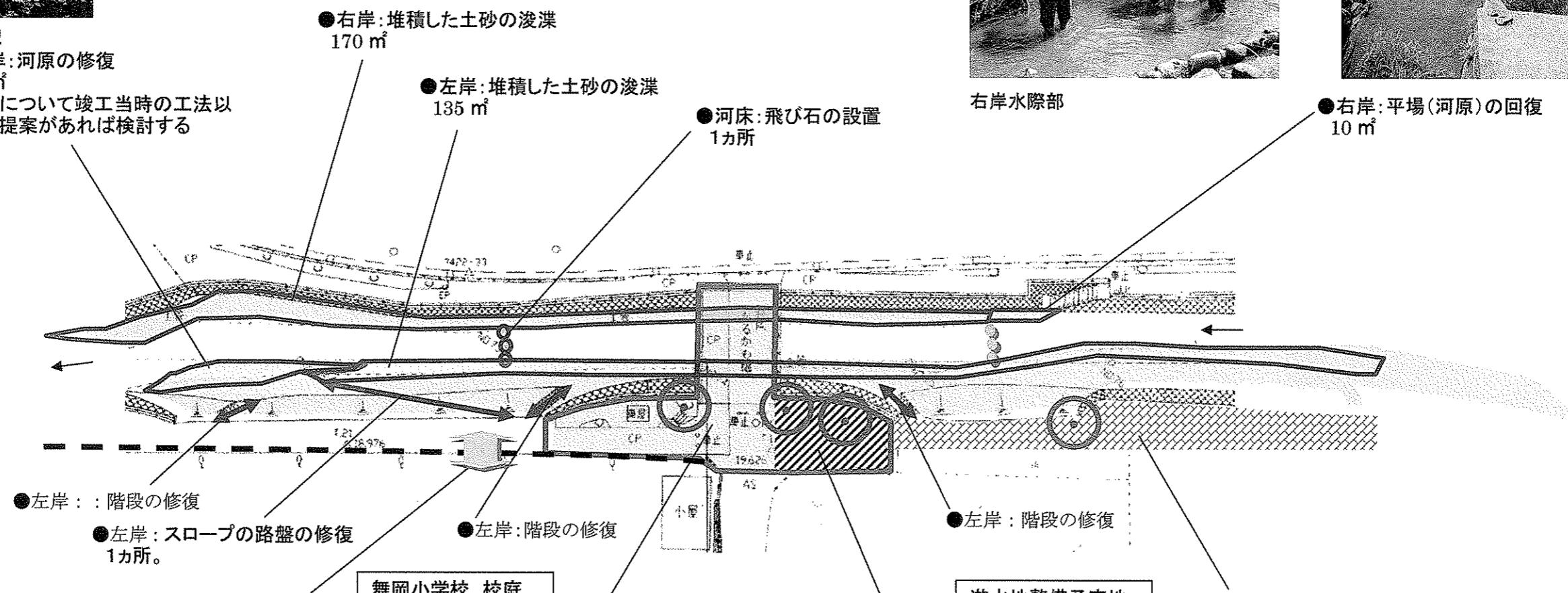
- 遊水地との関係で、基本的には竣工当時の形状・断面に戻す。
- 河床については断面的に問題はないので浚渫等は行わない
- 水際部についてはできるだけ現況を残せるよう、現地立会いにおいて浚渫方法を決定する



右岸水際部



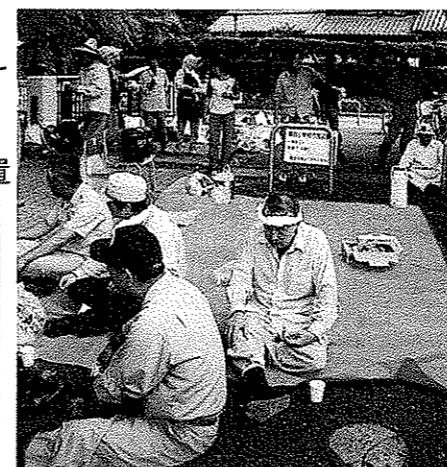
- 右岸: 平場(河原)の回復
10 m²



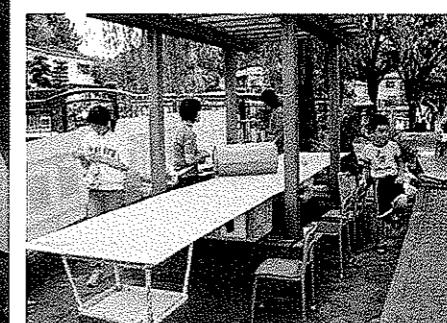
左岸階段の踏み面



橋面とすりつけとの段差



橋上と手前スペースとの分断



橋詰広場と管理用通路との段差



かるがも橋より上流

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。(見込みも含めて記入してください。)また、複数の細目について、まとめて記入することもできます。

主な整備項目	細 目	数 量	単 価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の 負担等)
実施設計費	① 設計図作成 (積算・見積含む)	10人日	25,000/人日	250,000	
	②設計管理	4人日	25,000/人日	100,000	
I 河川部分					
1.土砂浚渫工	①左岸土砂浚渫工	135m ³	-	-	環境創造局河川事業 課により工事
	②右岸土砂浚渫工	170m ³	-	-	
2.河原等修復工	①左岸河原修復工	30m ³	-	-	
	②右岸階段下河川敷 修復工	10m ³	-	-	
3.スロープ・階段 修復工	①スロープ路盤 修復工	1箇所	-	-	
	②階段修復工	3箇所	-	-	
4.飛び石設置工	①飛び石設置工	1箇所	-	-	
5.植栽工	①水生植物等植栽	120株	-	-	子ども、住民による 植栽:10人日
II 橋詰広場部分					
1.撤去工	① パーゴラ・ベンチ 撤去工	1基	42,000/基	42000	
	②アスファルト舗装 撤去工	19.6m ²	4,200/m ²	82,320	
	③インターロッキング 舗装撤去工	12.7m ²	4,200/m ²	53,340	子ども、住民によるブ ロック撤去、再利用の ための保管:10人日
	④石張り舗装撤去工	6.1m ²	4,200/m ²	25,620	
	⑤諸経費	50%		101,640	
2.インターロッキン グ舗装工	①路盤工 RC-30、砂含む	64.3m ²	1,100/m ²	70,730	
	②インターロッキング ブロック敷工	64.3m ²	1,700/m ²	109,310	
	③インターロッキング ブロック (一部既存再利用)	51.6m ²	7,300/m ²	376,680	

主な整備項目	細 目	数 量	単 価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の 負担等)
3.手すり改修工	①手すり H300	15.0m	20,000/m	300,000	
	②手すり設置工 (既設に溶接等)	15.0m	3,500/m	52,500	維持管理については 住民の参加で実施
4.休息施設工	①パーゴラ 4.8mX1.8mX2.0m	1基	500,000/基	500,000	
	②ベンチA 0.4mX1.8mX0.42m	2基	50,000/基	100,000	
	③ベンチB 0.4mX1.6mX0.42m	2基	30,000/基	60,000	
	テーブル 0.8mX3.6mX0.7m	1基	200,000/基	200,000	
	④パーゴラ・ベンチ・ テーブル設置工	一式	-	100,000	
5.案内板工	①案内板材料 0.76mX0.88mXt0.06	1基	50,000/基	50,000	地域住民による組み 立て既設支柱に 設置:5人日
6.車止め移設工	①車止め移設工	2基	15,000/基	30,000	
7.植栽工	①アケビヅル	2本	-	-	地域の里山より採取 :2人日
	②野草類	60株	250/株	15,000	子ども、地域住民に よる植栽:10人日
	③植栽用土	200L	-	-	地元農家より提供
8.処分費	①運搬費(2t車)	1台	4,900/台	4,900	
	②運転手(一般)	0.5人日	15,900/人日	7,950	
	③コンクリート、アスフ アルトがら(2t車)	2台	18,100/台	36,200	
	④諸経費	50%	-	24,525	
III 橋上広場部分					
1.デッキ工	①ウッドデッキ工 2.3mX0.78mX0.11m	22基	58,500/基	1,287,000	維持管理については 住民の参加で実施
	②すり付デッキ工 2.3mX0.88mX0.11m	4基	72,150/基	288,600	
	③デッキ端部工 2.3mX0.56mX0.05m	4基	85,500/基	342,000	
2.休息施設工	③ベンチC 0.8mX1.6mX0.42m	3基	100,000/基	300,000	子どもたちの参加に よる絵等の彫刻 :15人日
3.プランター工	①プランターボックス 材料 1.5mX0.3mX0.33m	6台	20,000/台	120,000	ボックス組み立て・ セッティング :3人日
	②プランター既成品 (650×245×188)	12個	1,250/個	15,000	
整備助成金助成上限の500万円を超える分に対する対応					△35,315 バザー等による収入 で充当する
合 計					5,000,000